エコアクション21
環境経営レポート

〔活動期間〕 2024年 7月 1日 ～ 2025年 6月30日

発行日　 2025年 9月 30日

株式会社 幸成建設

KOSEI

目　　次

1. 組織の概要 ・・・・・ 1

2. 実施体制 ・・・・・ 2

3. 環境経営方針 ・・・・・ 3

4. 環境経営目標 ・・・・・ 4

5. 環境経営計画 ・・・・・ 5

6. 環境経営計画の取組結果とその評価及び次年度の取組計画 ・・・・・ 6

7. 環境経営目標の実績とその評価・次年度の環境経営目標 ・・・・・ 7

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果
並びに違反、訴訟等の有無 ・・・・・ 12

9. 代表者による全体評価と見直し結果・指示 ・・・・・ 13

認証番号　0013904

1. 組織の概要

(1) 事業者名及び代表者名

株式会社　幸成建設

代表取締役社長　保苅　成幸

(2) 所在地

本社　　〒399-0744

長野県　塩尻市　大字大門　72－4

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者	工事部　：　戸谷　幸夫
環境管理担当者	総務部　：　山本　世里花
連絡先	ＴＥＬ　：　0263-54-7475(代)
	ＦＡＸ　：　0263-54-7476
	E-mail　：　info@kosei-c.com
	HP　　：　http://www.kosei-c.com/

(4) 事業内容

総合建設業

建設業許可	長野県知事許可　(特-5)　第　15862　号
有効期限	2028年(令和10年)　10月　30日

(5) 事業の規模

設　立	1988(昭和63)年　7月
資本金	50,000,000　円
売上高	453,900,000　円(2024年度)
従業員	8人
延床面積	127.5m2

(6) 事業年度

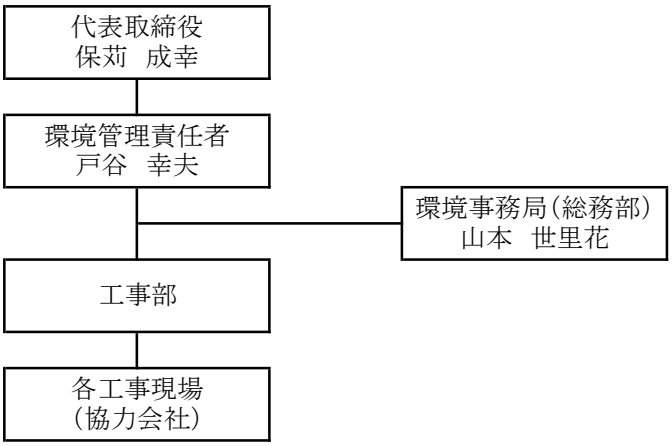
7月 ～ 6月

(7) 認証登録の範囲

株式会社　幸成建設　(全活動、全従業員)

2. 実施体制

（1） EA21運用実施組織図



（2） 責任及び権限

	役割・責任・権限
代表者 （社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理 責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認
環境 事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務所への送付)
工事部	・現場における環境経営システムの実施 ・現場における環境方針の周知 ・現場の作業員に対する教育訓練の実施 ・現場に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・テスト、訓練を実施、記録の作成 ・現場の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められた各自の役割を実施
協力会社	・決められたことを守り、積極的に環境活動へ参加

環 境 理 念

株式会社幸成建設は、建設業を通じ地域に『信頼』される企業を目指し、環境への取り組みを実施することで社会に『貢献』する。エコアクション21環境経営の構築・運用を実施し、環境維持を継続的に続けられるよう努める。

活 動 経 営 方 針

① エネルギー消費削減に向け改善と行動を実践します。
② ゴミの発生や、3R(リデュース・リユース・リサイクル)に取り組みます。
③ 電力・自動車・建設機械燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量を削減する。
④ 使用材料の省資源化、廃棄物の削減、リサイクルの推進を行う。
⑤ 会社・現場周辺の清掃活動、環境活動を実施する。
⑥ 環境関連法規を遵守する。
⑦ 環境経営の継続的改善を誓約する。

制定日： 2021年 6月20日

株式会社 幸成建設
代表取締役 保苅 成幸

4. 環境経営目標

制定日：2021年6月20日　　改定日：2024年4月30日

KOSEI

環境経営への取組み項目			責任部門 責任者	基準値 基準年度:2022年度	中期～長期目標・達成手段 年度	2023年度(前年度)	2024年度(当年度)	2026年度(中期)	2028年度(長期)
二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出量の削減	電力の二酸化炭素排出量の削減 ※売上高比による。 ※排出係数 (中部電力) 0.433kg-CO2/kWh (サンリン) 0.437kg-CO2/kWh (摘要年度2023年)	総務部 山本	21,114 kWh 9,136 kg-CO2 売上高比:kg-CO2／百万円 **24.51** kg-CO2	基準年度比	99%	98%	96%	94%
					目標値	24.26 kg-CO2	24.02 kg-CO2	23.53 kg-CO2	23.04 kg-CO2
					達成手段	LED電灯の導入 節電(消灯)活動推進 空調温度の適正化	LED電灯の導入 節電(消灯)活動推進 空調温度の適正化	LED電灯の導入 空調温度の適正化 省エネ機器の導入	生産性向上(残業削減) 空調温度の適正化 省エネ機器の導入
		自動車・建設機械の二酸化炭素 ※売上高比による。 ※排出係数 (ガソリン) 2.32kg-CO2/L (軽油) 2.58kg-CO2/L	工事部 戸谷	ガソリン 8,679.80L 軽油 121.35L 20,450 kg-CO2 売上高比:kg-CO2／百万円 **54.87** kg-CO2	基準年度比	99%	98%	96%	94%
					目標値	54.32 kg-CO2	53.77 kg-CO2	52.68 kg-CO2	51.58 kg-CO2
					達成手段	アイドリングストップ エコドライブ10の推進	アイドリングストップ エコドライブ10の推進	アイドリングストップ エコドライブ10の推進 ハイブリッド車の検討	アイドリングストップ エコドライブ10の推進 ハイブリッド車の検討
		灯油・LPGの二酸化炭素 ※売上高比による。 ※排出係数 (灯油) 2.49kg-CO2/L (LPG) 3.0 kg-CO2/kg	総務部 山本	灯油 361.00L LPG 1.24kg 903 kg-CO2 売上高比:kg-CO2／百万円 **2.42** kg-CO2	基準年度比	99%	98%	96%	94%
					目標値	2.40 kg-CO2	2.37 kg-CO2	2.32 kg-CO2	2.27 kg-CO2
					達成手段	空調温度の適正化 作業時間の効率化・短縮化	空調温度の適正化 作業時間の効率化・短縮化	空調温度の適正化 作業時間の効率化・短縮化	空調温度の適正化 作業時間の効率化・短縮化
		二酸化炭素総排出量		売上高比:kg-CO2／百万円 **81.81** kg-CO2	基準年度比	99.0%	98.0%	96.0%	94.0%
					目標値	80.98 kg-CO2	80.16 kg-CO2	78.53 kg-CO2	76.89 kg-CO2
廃棄物排出量	廃棄物の削減	一般廃棄物の削減 ※売上高比による。	総務部 山本	0 kg 売上高比:kg／売上 **0.00** kg	基準年度比	99%	98%	96%	94%
					目標値	0.00 kg／売上	0.00 kg／売上	0.00 kg／売上	0.00 kg／売上
					達成手段	社内資料の裏紙使用 再資源化の活用	社内資料の裏紙使用 再資源化の活用	社内資料の裏紙使用 再資源化の活用	社内資料の裏紙使用 再資源化の活用
		産業廃棄物の削減 ※売上高比による。 ＊工事の受注状況により変動あり	工事部 戸谷	76 t 売上高比:t／売上 **0.20** t	基準年度比	99%	98%	96%	94%
					目標値	0.20 t／売上	0.20 t／売上	0.19 t／売上	0.19 t／売上
					達成手段	計画的な資材購入・使用 分別解体・再利用の徹底	計画的な資材購入・使用 分別解体・再利用の徹底	計画的な資材購入・使用 分別解体・再利用の徹底	計画的な資材購入・使用 分別解体・再利用の徹底
水使用量	水使用量の削減	水使用量の削減 ※売上高比による。	総務部 山本	34 m3 売上高比:m3／売上 **0.09** m3	基準年度比	99%	98%	96%	94%
					目標値	0.09 m3／売上	0.09 m3／売上	0.09 m3／売上	0.08 m3／売上
					達成手段	事務所等施設、節水の励行	事務所等施設、節水の励行	事務所等施設、節水の励行	事務所等施設、節水の励行
製品及びサービス	地域貢献工事現場	会社・現場周辺の清掃	工事部 戸谷	※左記については 数値目標は設けない	達成手段	近隣の清掃、草刈等 定期的なゴミ拾い活動	近隣の清掃、草刈等 定期的なゴミ拾い活動	近隣の清掃、草刈等 定期的なゴミ拾い活動	近隣の清掃、草刈等 定期的なゴミ拾い活動
		工事現場における環境配慮	工事部 戸谷	※左記については 数値目標は設けない		定期的なゴミ拾い活動 現場内外の清掃活動 アイドリングストップの推奨	定期的なゴミ拾い活動 現場内外の清掃活動 アイドリングストップの推奨	定期的なゴミ拾い活動 現場内外の清掃活動 アイドリングストップの推奨	定期的なゴミ拾い活動 現場内外の清掃活動 アイドリングストップの推奨
		その他	工事部 戸谷	※左記については 数値目標は設けない		教育・訓練の実施 (安全教育・避難訓練等)	教育・訓練の実施 (安全教育・避難訓練等)	教育・訓練の実施 (安全教育・避難訓練等)	教育・訓練の実施 (安全教育・避難訓練等)
代表者からの指示		1，環境経営方針に基づいて、今後も継続的に努める。 2，二酸化炭素排出量の削減が出来る活動の発展に努める。			達成手段	上記、達成手段により各環境経営取組み項目を実践、継続する。特に電力・燃料の消費量削減に留意する。 デジタル化による情報共有システムを有効利用して、二酸化炭素の排出量削減に繋げるよう取り組む。			

5. 環境経営計画

取 組 内 容	詳 細	SDGs関連
1. 二酸化炭素排出量の削減		
(1) 電力量		
・昼休みの節電(消灯)	全社員	
・エアコンの温度設定(冷房28度・暖房20度)	全社員	
・エアコンディショナーの簡易点検	4回/年	
・待機電気機器のスイッチ節電	全社員	
・LED電灯の導入	常に使用場所	
・使用量、使用料金の把握	6回/年	
(2) ガソリン量		
・社有車の日常点検	全社員	
・エコドライブ10の実施(急の付く運転禁止)	全社員	
・適正時期のタイヤ交換(夏/冬・摩耗)	全社員	
・アイドリングストップ	全社員	
(3) 灯油量		
・灯油の効果的な暖房利用	全社員	
(4) LPG量		
・夏季の手洗いは水使用	全社員	
・使用量、使用料金の把握と掲示	会議報告	
2. 廃棄物の削減		
(1) 廃棄物量		
・分別と再生利用の促進	全社員	
・計量と分別の分別状況の点検	全社員	
・ゴミ箱周辺の見回りチェック	全社員	
・3R(リデュース・リユース・リサイクル) によるゴミ発生の抑制	全社員 各現場	
・コピー用紙の両面使用	全社員・現場	
・情報共有システムの実施	全社員・現場	
3. 用水の削減		
(1) 水量		
・節水ラベル貼付け	スイッチ・蛇口へ	
・洗車頻度の見直し	全社員	
・水漏れ確認(検針票等)	検針票/月	
4. 社会奉仕活動		
(1) 環境保全		
・会社周辺のゴミ拾い(3回/年)	全社員参加	
・会社周辺の草取り、清掃、雪かき	2回/年	
・現場周辺のゴミ拾い	現場毎/月	
・現場周辺の草取り、清掃、雪かき	現場毎	
5. 業務改善		
(1) 環境改善		
・身の周り、職場の整理・整頓(6ケ月毎)	全社員	
・5S活動	全社員	
・SDGsの取り組み	講習会/年	

6. 環境経営計画の取組結果とその評価及び次年度の取組計画

取 組 内 容	取組結果	評価	次年度の取組計画
1. 二酸化炭素排出量の削減			
(1) 電力量			
・昼休みの節電(消灯)	全社員実施	○	継続活動
・エアコンの温度設定(冷房28度・暖房20度)	全社員実施	○	継続活動
・エアコンディショナーの簡易点検	4回実施	○	継続活動
・待機電気機器のスイッチ節電	全社員実施	○	継続活動
・LED電灯の導入	9割完了	○	継続活動
・使用量、使用料金の把握	会議報告/月	○	継続活動
(2) ガソリン量			
・社有車の日常点検、従業員車2回/年	全社員実施	○	継続活動
・エコドライブ10の実施(急の付く運転禁止)	全社員実施	○	継続活動
・適正時期のタイヤ交換(夏/冬・摩耗)	全社員実施	○	継続活動
・アイドリングストップ	全社員実施	○	継続活動
(3) 灯油量			
・灯油の効果的な暖房利用	全社員実施	○	継続活動
(4) LPG量			
・夏季の手洗いは水使用	全社員実施	○	継続活動
・使用量、使用料金の把握と掲示	会議報告/月	○	継続活動
2. 廃棄物の削減			
(1) 廃棄物量			
・分別と再生利用の促進	全社員実施	○	継続活動
・計量と分別の分別状況の点検	全社員実施	○	継続活動
・ゴミ箱周辺の見回りチェック	全社員実施	○	継続活動
・3R(リデュース・リユース・リサイクル) によるゴミ発生の抑制	全社員実施 各現場実施	○	継続活動
・コピー用紙の両面使用	全社員・現場実施	○	継続活動
・情報共有システムの実施	全社員・現場実施	○	継続活動
3. 用水の削減			
(1) 水量			
・節水ラベル貼付け	スイッチ・蛇口へ	○	継続活動
・洗車頻度の見直し	全社員実施	○	継続活動
・水漏れ確認(検針票等)	検針票/月	○	継続活動
4. 社会奉仕活動			
(1) 環境保全			
・会社周辺のゴミ拾い(3回/年)	全社員参加	○	継続活動
・会社周辺の草取り、清掃、雪かき	2回(8月・12月)/年	○	継続活動
・現場周辺のゴミ拾い	現場毎実施/月	○	継続活動
・現場周辺の草取り、清掃、雪かき	現場毎実施	○	継続活動
5. 業務改善			
(1) 環境改善			
・身の周り、職場の整理・整頓(6ケ月毎)	全社員実施	○	継続活動
・5S活動	全社員実施	○	継続活動
・SDGsの取り組み	講習会/年	○	継続活動

7.環境経営目標の実績とその評価・次年度の環境経営目標

制定日：2021年6月20日　作成日：2025年8月20日

1）環境経営への取組み項目の結果及び評価　1/3

1．二酸化炭素総排出量

1-1　電力の二酸化炭素排出量の削減

※二酸化炭素排出係数　0.433(中電)0.437(ｻﾝﾘﾝ)kg-CO2/kWh（摘要年度2023年度）

項　目	単位	2022年度(基準年度)	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	評　価
実績値	kWh	21,114	21,186	25,407			× 現場条件による
	kg-CO2	10,794	9,198	11,025			× 現場条件による

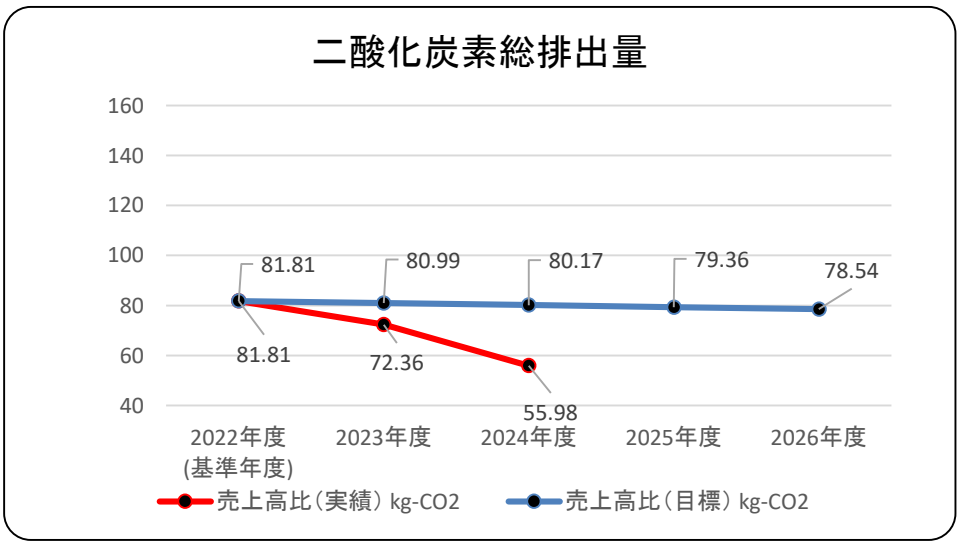
1-2　自動車・建設機械の二酸化炭素排出量の削減

※排出係数(ガソリン)2.32kg-CO2/L、(軽油)2.58kg-CO2/L

項　目	単位	2022年度(基準年度)	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	評　価
実績値(ｶﾞｿﾘﾝ)	L	8,680	8,398	5,940			○
実績値(軽油)	L	121	91	298			× 現場条件による
実績値(灯油)	L	361	251	266			× 現場条件による
実績値(ガス)	kg	1	1	1			○
実績値(合計)	kg-CO2	21,353	29,297	26,076			○

二酸化炭素総排出量

項　目	単位	2022年度(基準年度)	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	評　価
実績値 (電気・燃料　合算)	kg-CO2	30,488	29,297	26,076			○
売上高	百万円	372.7	396.2	453.9			
売上高比(実績)	kg-CO2	81.81	72.36	55.98			○
実績比率	%	100.0%	88.4%	68.4%			○
売上高比(目標)	kg-CO2	81.81	80.99	80.17	79.36	78.54	
目標比率	%	100.0%	99.0%	98.0%	97.0%	96.0%	



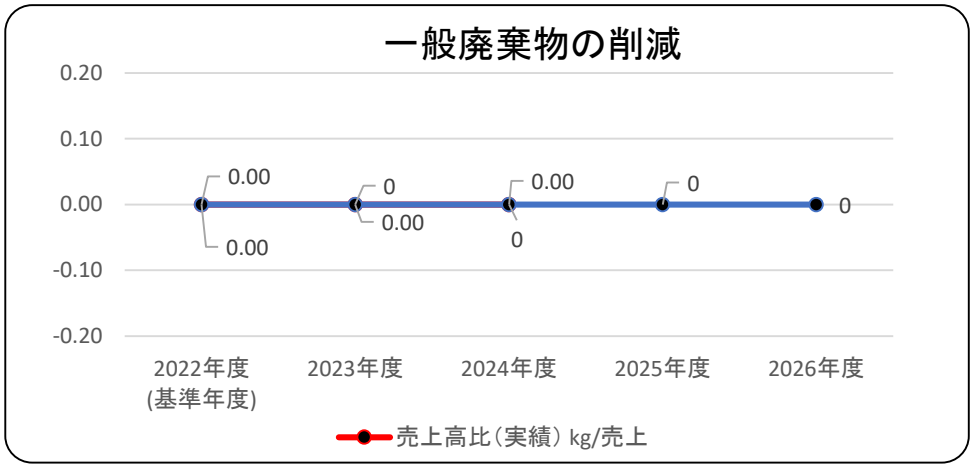
7.環境経営目標の実績とその評価・次年度の環境経営目標

制定日：2021年6月20日　作成日：2025年8月20日

2. 廃棄物の削減　　2/3

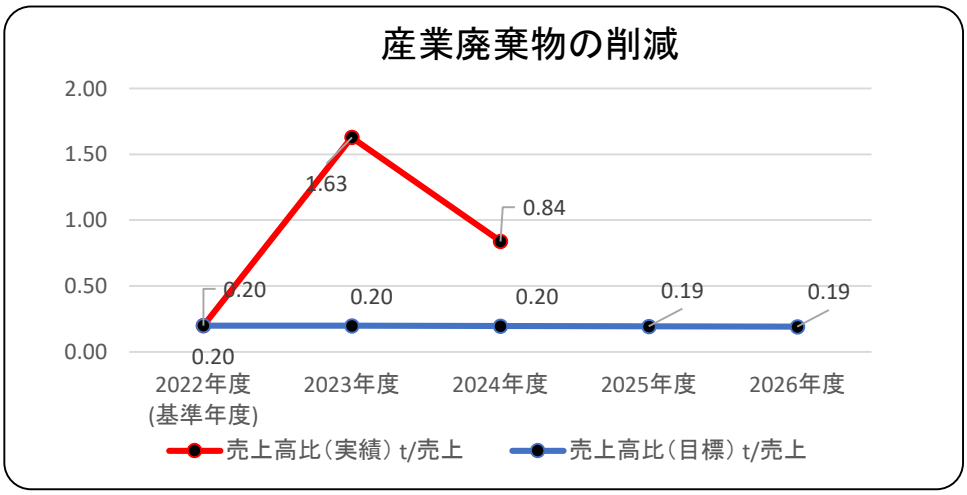
2-1　一般廃棄物の削減

項　目	単位	2022年度(基準年度)	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	評　価
実績値	kg	0	0	0			○
売上高	百万円	372.7	396.2	453.9			
売上高比(実績)	kg/売上	0.00	0.00	0.00			○
実績比率	%	100.0%	0.0%	0.0%			○
売上高比(目標)	kg/売上	0.00	0	0	0	0	
目標比率	%	100.0%	99.0%	98.0%	97.0%	96.0%	



2-2　産業廃棄物の削減

項　目	単位	2022年度(基準年度)	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	評　価
実績値	t	76	647	380			×法面修繕
売上高	百万円	372.7	396.2	453.9			
売上高比(実績)	t/売上	0.20	1.63	0.84			×法面修繕
実績比率	%	100.0%	815.0%	420.0%			×法面修繕
売上高比(目標)	t/売上	0.20	0.20	0.20	0.19	0.19	
目標比率	%	100.0%	99.0%	98.0%	97.0%	96.0%	

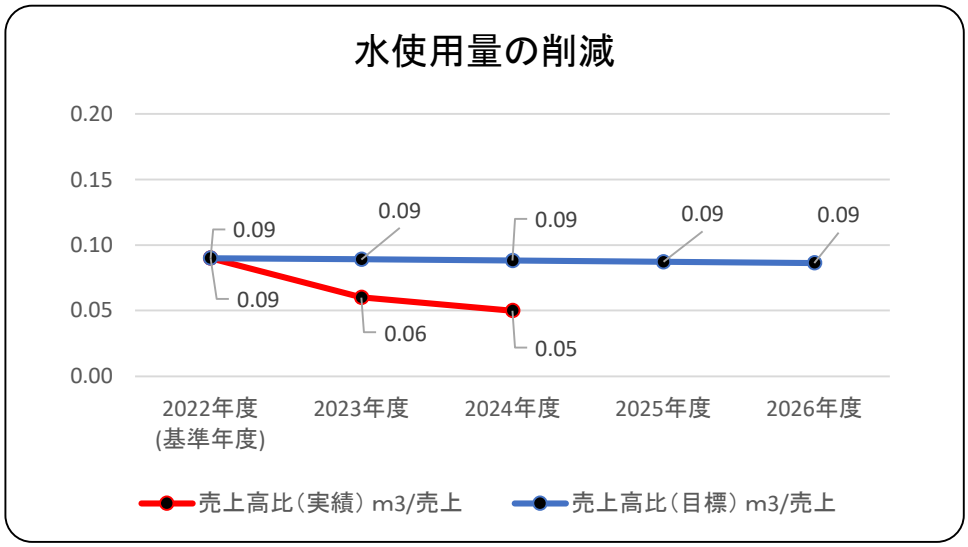


7.環境経営目標の実績とその評価・次年度の環境経営目標

制定日:2021年6月20日　作成日:2025年8月20日

3. 水使用量の削減　3/3

項　目	単位	2022年度(基準年度)	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	評 価
実績値	m3	34	25	22			○
売上高	百万円	372.7	396.2	453.9			
売上高比(実績)	m3/売上	0.09	0.06	0.05			○
実績比率	%	100.0%	66.7%	55.6%			○
売上高比(目標)	m3/売上	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	
目標比率	%	100.0%	99.0%	98.0%	97.0%	96.0%	



7-1. 環境経営目標の実績とその評価(1)

※2024年度(2024年7月～2025年6月)

制定日：2021年6月20日　改定日：2023年4月20日　作成日：2025年8月20日

KOSEI

環境経営への取組み項目			責任部門	基準値	年度毎目標・達成手段			2024年度 計画・実施・評価												
								月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
			責任者	基準年度:2022年度	年度	2024年度(目標)	2024年度(実施)	時期	1/4半期(7～9月)			上半期(7～12月)			3/4半期(7～3月)			4/4半期(7～6月)		
二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出量の削減	電力の二酸化炭素排出量の削減 ※売上高比による。 ※排出係数 (中部電力) 0.433kg-CO2/kWh (サンリン) 0.437kg-CO2/kWh (摘要年度2023年)	総務部 山本	21,114 kWh 9,136 kg-CO2 売上高比: kg-CO2／百万円 **24.51** kg-CO2	実績/目標	20,692 kwh	25,407 kwh	計画	5,173 kwh			10,346 kwh			15,519 kwh			20,692 kwh		
					基準年度比	98%	120%	実施	6,208 kwh			12,217 kwh			19,925 kwh			25,407 kwh		
					達成手段	LED電灯の導入 節電(消灯)活動推進 空調温度の適正化	LED電灯の導入 節電(消灯)活動推進 空調温度の適正化	評価コメント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
									現場個数により左右されるが、節電を引続き促していく。			同左			同左			同左		
		自動車・建設機械の二酸化炭素 ※売上高比による。 ※排出係数 (ガソリン) 2.32kg-CO2/L (軽油) 2.58kg-CO2/L	工事部 戸谷	ガソリン(G) 8,679.80L 軽油(K) 121.35L 20,450 kg-CO2 売上高比: kg-CO2／百万円 **54.87** kg-CO2	実績/目標(G)	8,506 L	5,940 L	計画(G)	2,127 L			4,253 L			6,380 L			8,506 L		
					基準年度比	98%	68%	実施(G)	1,069 L			2,580 L			4,399 L			5,940 L		
					実績/目標(K)	119 L	298 L	計画(K)	30 L			60 L			89 L			119 L		
					基準年度比	98%	246%	実施(K)	0 L			73 L			193 L			298 L		
					達成手段	アイドリングストップ エコドライブ10の推進	アイドリングストップ エコドライブ10の推進	評価コメント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
									現場個数により左右されるが、エコドライブを引続き促していく。			同左			同左 ＊降雪による除雪作業がふえた。			同左		
		灯油・LPGの二酸化炭素 ※売上高比による。 ※排出係数 (灯油) 2.49kg-CO2/L (LPG) 3.0kg-CO2/kg	総務部 山本	灯油(T) 361.00L LPG(L) 1.24kg 2 kg-CO2 売上高比: kg-CO2／百万円 **2.42** kg-CO2	実績/目標(T)	354 L	266 L	計画(T)	89 L			177 L			266 L			354 L		
					基準年度比	98%	74%	実施(T)	0 L			122 L			266 L			266 L		
					実績/目標(L)	1.00 kg	0.70 kg	計画(L)	0.00 kg			1.00 kg			1.00 kg			1.00 kg		
					基準年度比	98%	56%	実施(L)	0.10 kg			0.40 kg			0.60 kg			0.70 kg		
					達成手段	空調温度の適正化 作業時間の効率化・短縮化 エアコンとの効果的な使用	空調温度の適正化 作業時間の効率化・短縮化 エアコンとの効果的な使用	評価コメント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
									エアコンとの効果的な使用により電気、灯油の削減を行う。						同左			同左		
		二酸化炭素総排出量		売上高比:kg-CO2／百万円 **81.81** kg-CO2	実績/目標	80.16 kg-CO2	kg-CO2	電力・ガソリン使用量の削減ができた。引続き効果が上がるよう1人1人努める。												
					基準年度比	98%	0%													
廃棄物排出量	廃棄物の削減	一般廃棄物の削減 ※売上高比による。	総務部 山本	0.00 kg 売上高比:kg／売上 **0.00** kg	実績/目標	0 kg	0 kg	計画	0 kg			0 kg			0 kg			0 kg		
					基準年度比	98%		実施	0 kg			0 kg			0 kg			0 kg		
					達成手段	社内資料の裏紙使用 再資源化の活用	社内資料の裏紙使用 再資源化の活用	評価コメント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
									継続活動			同左			同左			同左		
		産業廃棄物の削減 ※売上高比による。 ＊工事の受注状況により変動あり	工事部 戸谷	76 t 売上高比:t／売上 **0.2** t	実績/目標	74 t	380 t	計画	19 t			37 t			56 t			74 t		
					基準年度比	98%	500%	実施	18 t			95 t			95 t			380 t		
					達成手段	計画的な資材購入・使用 分別解体・再利用の徹底	計画的な資材購入・使用 分別解体・再利用の徹底	評価コメント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
									現場の内容に大きく左右されるが3Rを実践的に進める。						同左			同左		
水使用量	水使用量の削減	水使用量の削減	総務部 山本	34 m3 売上高比:m3／売上 **0.09** m3	実績/目標	33 m3	22 m3	計画	8 m3			17 m3			25 m3			33 m3		
					基準年度比	98%	65%	実施	6 m3			10 m3			18 m3			22 m3		
					達成手段	事務所等施設、節水の励行	事務所等施設、節水の励行	評価コメント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
									節水に継続的に努める。			同左			同左			同左		
製品及びサービス	地域貢献工事現場	会社・現場周辺の清掃	工事部 戸谷	※左記については 数値目標は設けない	達成手段	近隣の清掃、草刈等 定期的なゴミ拾い活動	近隣の清掃、草刈等 定期的なゴミ拾い活動	評価コメント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		工事現場における環境配慮	工事部 戸谷	※左記については 数値目標は設けない		定期的なゴミ拾い活動 現場内外の清掃活動 アイドリングストップの推奨	定期的なゴミ拾い活動 現場内外の清掃活動 アイドリングストップの推奨		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
									継続的に活動する。			同左			同左			同左		
		その他	工事部 戸谷	※左記については 数値目標は設けない		教育・訓練の実施 (安全教育・避難訓練等)	教育・訓練の実施 (安全教育・避難訓練等)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
									各現場で月/1回は継続的に活動する。						同左			同左		
代表者からの指示		1, 環境経営方針に基づいて、今後も継続的に努める。 2, 二酸化炭素排出量の削減が出来る活動の発展に努める。			達成手段	上記、達成手段により各環境経営取組み項目を実践、継続する。特に電力・燃料の消費量削減に留意する。 デジタル化による情報共有システムを有効利用して、二酸化炭素の排出量削減に繋げるよう取り組む。														

7-2. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

※2025年度(2025年7月～2026年6月)

制定日：2021年6月20日　　改訂日：2025年8月20日

KOSEI

環境経営への取組み項目			責任部門	基準値	年度毎目標・達成手段			2025年度 計画・実施・評価											
								月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
			責任者	基準年度:2022年度	年度	2025年度(目標)	2025年度(実施)	時期	1/4半期(7～9月)			上半期(7～12月)			3/4半期(7～3月)			4/4半期(7～6月)		
二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出量の削減	電力の二酸化炭素排出量の削減 ※売上高比による。 ※排出係数 (中部電力) 0.433kg-CO2/kWh (サンリン) 0.0.437kg-CO2/kWh (摘要年度2023年)	総務部 山本	21,114 kWh 10,794 kg-CO2 売上高比: kg-CO2／百万円 **28.96** kg-CO2	実績/目標	20,481 kwh	0 kwh	計画		5,120 kwh			10,241 kwh			15,361 kwh			20,481 kwh	
					基準年度比	97%	0%	実施		kwh			kwh			kwh			kwh	
					達成手段	LED電灯の導入 節電(消灯)活動推進 空調温度の適正化	LED電灯の導入 節電(消灯)活動推進 空調温度の適正化	評価 コメント												
		自動車・建設機械の二酸化炭素 ※売上高比による。 ※排出係数 (ガソリン) 2.32kg-CO2/L (軽油) 2.58kg-CO2/L	工事部 戸谷	ガソリン(G) 8,679.80L 軽油(K) 121.35L 20,450 kg-CO2 売上高比: kg-CO2／百万円 **54.87** kg-CO2	実績/目標(G)	8,419 L	0 L	計画(G)		2,105 L			4,210 L			6,314 L			8,419 L	
					基準年度比	97%	0%	実施(G)		L			L			L			L	
					実績/目標(K)	118 L	0 L	計画(K)		30 L			59 L			89 L			118 L	
					基準年度比	97%	0%	実施(K)		L			L			L			L	
					達成手段	アイドリングストップ エコドライブ10の推進	アイドリングストップ エコドライブ10の推進	評価 コメント												
		灯油・LPGの二酸化炭素 ※売上高比による。 ※排出係数 (灯油) 2.49kg-CO2/L (LPG) 3.0kg-CO2/kg	総務部 山本	灯油(T) 361.00L LPG(L) 1.24kg 2 kg-CO2 売上高比: kg-CO2／百万円 **2.42** kg-CO2	実績/目標(T)	350 L	0 L	計画(T)		88 L			175 L			263 L			350 L	
					基準年度比	97%	0%	実施(T)		L			L			L			L	
					実績/目標(L)	1.00 kg	0.00 kg	計画(L)		0.00 kg			1.00 kg			1.00 kg			1.00 kg	
					基準年度比	97%	0%	実施(L)		kg			kg			kg			kg	
					達成手段	空調温度の適正化 作業時間の効率化・短縮化 エアコンとの効果的な使用	空調温度の適正化 作業時間の効率化・短縮化 エアコンとの効果的な使用	評価 コメント												
		二酸化炭素総排出量		売上高比:kg-CO2／百万円 **86.26** kg-CO2	実績/目標	83.66 kg-CO2	kg-CO2													
					基準年度比	97%	0%													
廃棄物排出量	廃棄物の削減	一般廃棄物の削減 ※売上高比による。	総務部 山本	0 kg 売上高比:kg／売上 **0** kg	実績/目標	0 kg	0 kg	計画		0 kg			0 kg			0 kg			0 kg	
					基準年度比	97%		実施		kg			kg			kg			kg	
					達成手段	社内資料の裏紙使用 再資源化の活用	社内資料の裏紙使用 再資源化の活用	評価 コメント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		産業廃棄物の削減 ※売上高比による。 ＊工事の受注状況により変動あり	工事部 戸谷	76 t 売上高比:t／売上 **0.2** t	実績/目標	74 t	0 t	計画		19 t			37 t			56 t			74 t	
					基準年度比	97%	0%	実施		t			t			t			t	
					達成手段	計画的な資材購入・使用 分別解体・再利用の徹底	計画的な資材購入・使用 分別解体・再利用の徹底	評価 コメント												
									現場の内容に大きく左右されるが3Rを実践的に進める。			同左						同左		
水使用量	水使用量の削減	水使用量の削減	総務部 山本	34 m3 売上高比:m3／売上 **0.09** m3	実績/目標	33 m3	0 m3	計画		8 m3			17 m3			25 m3			33 m3	
					基準年度比	97%	0%	実施		m3			m3			m3			m3	
					達成手段	事務所等施設、節水の励行	事務所等施設、節水の励行	評価 コメント												
製品及びサービス	地域貢献 工事現場	会社・現場周辺の清掃	工事部 戸谷	※左記については 数値目標は設けない	達成手段	近隣の清掃、草刈等 定期的なゴミ拾い活動	近隣の清掃、草刈等 定期的なゴミ拾い活動	評価 コメント												
		工事現場における環境配慮	工事部 戸谷	※左記については 数値目標は設けない		定期的なゴミ拾い活動 現場内外の清掃活動 アイドリングストップの推奨	定期的なゴミ拾い活動 現場内外の清掃活動 アイドリングストップの推奨													
		その他	工事部 戸谷	※左記については 数値目標は設けない		教育・訓練の実施 (安全教育・避難訓練等)	教育・訓練の実施 (安全教育・避難訓練等)													
代表者からの指示		1, 環境経営方針に基づいて、今後も継続的に努める。 2, 二酸化炭素排出量の削減が出来る活動の発展に努める。			達成手段	上記、達成手段により各環境経営取組み項目を実践、継続する。特に電力・燃料の消費量削減に留意する。 デジタル化による情報共有システムを有効利用して、二酸化炭素の排出量削減に繋げるよう取り組む。														

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業活動に伴い適用される環境関連法規等は、次のとおりです。　　確認日：2024年7月21日

遵守評価日：2025年9月19日

法規制等の名称	適用される事項	証拠書類等	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出	契約書・許可書 マニフェスト	遵守
建設リサイクル法	対象建設工事の届出 再資源化等の実施・報告・記録の作成	説明書・届出書・告知書 計画書・報告書	遵守
建設副産物適正処理推進要領	法定数量を超える建設資材の 搬入・搬出現場	計画書・実施書	該当なし
オフロード法 建設機械に関する技術指針	排出ガス対策型建設機械の使用	各現場使用確認 (写真等)	遵守
建設工事公衆災害防止対策要領	掘削工事等に関わる処置	各現場使用確認 (写真等)	遵守
騒音規制法	指定地域における特定建設作業	届出書	該当なし
振動規制法	指定地域における特定建設作業	届出書	該当なし
道路交通法	道路使用許可申請書 過積載の防止	許可証 チェックリスト	遵守
道路法	道路占用許可申請書	許可証	遵守
フロン排出抑制法	点検記録	点検表	遵守
消防法（危険物）	灯油の防油堤の管理	点検表	該当なし
家電リサイクル法	事業所内での家電製品の廃棄	管理表	該当なし
自動車リサイクル法	社用車等の廃車時の届出	リサイクル券	該当なし
小型家電リサイクル法	事業所内での家電製品の廃棄	契約書・許可書 マニフェスト	該当なし
水質汚濁防止法	油流出時の応急措置、届出	届出	該当なし

環境関連法規等への違反及び関係当局による違反等の指摘は、現在及び過去3年間ありません。また、訴訟もありません。

9.代表者による全体の取組状況の評価と見直し・指示の結果

実 施 日　2025年9月19日
実施場所 本社会議室
出 席 者　社長、環境管理責任者、環境管理担当者

1. 前回の指示への取組結果
（1） 指示事項
・エコアクション21の活動経営に取組3年目として責任感をもって取り組む。
（2） 取組結果
・エコアクション21の活動経営に取組3年目として責任感をもって取り組んでいる。

2. 今期の評価結果
（1） 環境経営方針に基づき活動ができたか。
・方針に示す活動ができた。
（2） 環境経営目標の達成ができたか。
・ガソリン使用量が達成できたが、現場の施工場所による。
・軽油使用量は除雪作業に大きく左右される。
・LPG使用量については、毎年度少量の使用量である。
（3） 環境経営計画の実施及び運用結果はどうか。
・塩尻環境スタンダードの運用により、おおむね良好である。
（4） 環境関連法規の遵守状況はどうか。
・遵守状況を2025年9月19日に実施を行った。
・特に問題なし。
（5） 外部からの環境に関する苦情・要望はあったか。
・特になし
（6） 実施体制の評価
・特に問題はない。
3. 環境活動等への指示
（1） 指示項目
・計画通り実施し、定着させること。
・全社員が互いに継続するよう確認する。
・情報システムを有効活用して環境経営活動に努める
（2） 次年度への取組
・(1)指示項目のとおり行う。

2025年　9月　19日
株式会社　幸 成 建 設
代表取締役　保苅　成幸